

行政視察報告

2019.6. 9

(2019. 5)

松心会 島津幸男

I. 目的

1. 自立型教育の先進事例の調査 筑駒、麴町中
2. 自治体と大学の包括連携の実態調査 町田市

II. 行程

別紙 (1)

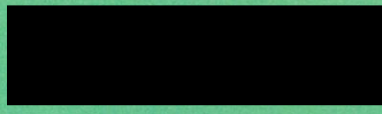
III. 面会先

別紙 (2)

IV. 調査内容

1. 国立筑波大付属駒場高校 町田多加志 副校長
(1) SSH高校に徳高も選抜され、昨年訪問。
(2) 『純粹』『オタク』『オリジナル』がキーワード。
(例) 子供の夢を大切に。また、教員も一緒に楽しむ。
(3) 教師は教科書を使わない。職人気質で生徒と切磋琢磨。
(4) 海外面では、入学での差別なし。卒業生は数名海外留学。
2. 千代田区立麴町中学校 工藤勇一 校長
(1) 5年目の『教育の目的』の実践
(例) 制服、ピアス、校則、宿題なし。自主制定。
(2) 国際性重視 自立、創造を第一に差別厳禁
(3) 受験重視せず。不登校児の受け入れ。生徒への負荷減
→結果として成績アップ 北欧スタイル
3. 町田市役所 佐藤和彦 副議長
浦田博之 政策経営部企画制作課長
佐々木健 市議会事務局 調査法制係長 他3名
(1) 2年毎に近隣の16大学と『総長懇親会』開催。
通年で事務レベル対応
(2) 大学側にはインターシップ・就職に利点。
行政側には知的アドバイスを受けられる。
(3) 協定内容と成果 別紙 (3)

本日はご来店いただきありがとうございます。



JTB徳山駅前店
山口県周南市銀座1-12
徳山セマディオビル1階 〒745-0032
TEL:0834-21-4666
【営業時間】 10:00~18:00
17:30まで受付
【定休日】 火祝および年末年始



筑波大学附属駒場中・高等学校

中学副校長 町田 多加志

勤務先 東京都世田谷区池尻4-7-1
〒154-0001 電話 03-3411-8521(代)
03-3411-8666(直)
FAX 03-3411-8977
U R L : <http://www.komaba-s.tsukuba.ac.jp/>

町田市議会議員

佐藤かずひこ
さとう 和彦



凛とした
町田市政を!!

〒194-0045 町田市南成瀬7-15-22
Tel/Fax. 042-810-1593

blog : <http://ameblo.jp/kazuhiko1972/>

町田市議会

副議長 佐藤和彦

議会十一九四一八五二〇
東京都町田市森野二二二二二
電話(〇四二)七二二二二二二番(代)



町田市

政策経営部企画政策課

課長 浦田博之

〒194-8520
東京都町田市森野2-2-22
Tel 042-724-2103 Fax 050-3085-3082



TOKYO 2020



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

東京都



町田市

町田市議会事務局
調査法制係

係長 佐々木 健

sasaki ken

〒194-8520
東京都町田市森野2-2-22 町田市役所3階
TEL: 042-724-4049 / FAX: 050-3161-7663



TOKYO 2020



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

東京都



町田市

政策経営部企画政策課

課長 浦田博之

〒194-8520
東京都町田市森野2-2-22
Tel 042-724-2103 Fax 050-3085-3082



TOKYO 2020



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

東京都



宜野湾市議会議員

経済建設常任委員長
基地関係特別委員会



宮城 克

議会事務局 沖縄県宜野湾市野嵩1-1-1
〒901-2710 電話(098)893-4411



町田市

政策経営部企画政策課

課長 浦田博之

〒194-8520
東京都町田市森野2-2-22
Tel 042-724-2103 Fax 050-3085-3082



TOKYO 2020



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

東京都

町田市議会事務局
調査法制係

係長 佐々木 健

sasaki ken

〒194-8520
東京都町田市森野2-2-22 町田市役所3階
TEL: 042-724-4049 / FAX: 050-3161-7663



TOKYO 2020



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

東京都

町田市と近隣大学等との包括連携協定について

町田市は、2006年度の町田市学長懇談会において、地域の大学等とお互いの特色を活用し合い、地域の課題解決や地域全体の教育・研究力を高めることを目的に、包括協定を締結しました。

学長懇談会加盟大学等（16校）

青山学院大学、麻布大学、桜美林大学、恵泉女学園大学、国土舘大学、サレジオ工業高等専門学校、昭和薬科大学、玉川大学、多摩美術大学、東京家政学院大学、東京工業大学、東京造形大学、鶴川女子短期大学、法政大学、山野美容芸術短期大学、和光大学

学長懇談会等による連携事業の実績

毎年度、およそ150～200件程の連携事業を実施しています。以下はその一例です。

- ・新マンホール蓋デザイン
- ・町田市中学校職場体験事業
- ・オリジナル婚姻届、出生届デザイン
- ・ゆうゆう版画美術館まつり
- ・マラソン事業への運営協力

学長懇談会等のメリット

- ・学生が行政へ参画する機会がより生まれました。
- ・市、大学等双方の事業に互いの意識が加わり、事業がより昇華されました。
- ・市の事業が学生にとって、より身近なものとなりました。